

令和2年6月30日

発言者	発言要旨
島津委員	地方創生臨時交付金で本県に配分された127億4,500万円をどのように評価しているのか。
財政課長	事前の情報では東京など都市部に重点的に配分する必要があると言われていたが、本県のように財政力の弱い団体にも一定程度配慮されたと考えている。
島津委員	地方創生臨時交付金と包括支援交付金の違いは何か。
財政課長	地方創生臨時交付金については、その使途の範囲が広く、今回の感染症対応の経済対策等にも活用できる。一方、包括支援交付金については、医療体制の整備等に活用できるもので、10分の10の補助率である。 できる限り包括支援交付金を優先的に活用し、該当しない事業については、地方創生臨時交付金を充てるという方針で編成している。
島津委員	増額補正した山形県商工業振興資金融資について、10年間の無利子無担保は事業者側にとって有利であり、今後もその利用が増えていくことが考えられるが、県と同額の利子を市町村に負担させることに対してどのように考えているのか。
財政課長	この利子の負担については、地方創生臨時交付金が充当可能である。市町村合計では県を上回る金額が配分されており、市町村には地方創生臨時交付金も活用いただきながら、引き続き県と市町村が一体となって地域経済の回復に取り組んでいきたい。
島津委員	地方創生臨時交付金を基金として積み立てることは可能なのか。
財政課長	政府の二次補正で地方創生臨時交付金の取扱いの一部が変更され、利子補給のために活用する分については、後年度5年分を基金に積み立てることが可能となった。
島津委員	各市町村との連携について、県が一方的に市町村に事業を押しつけることがあってはならないと考えるがどうか。
市町村課長	連携に当たっては、市町村にとって過大な負担になることがないように、市町村の意見や財政状況も踏まえて事業を作っていくことが重要と考える。市町村との連携事業を検討している部局に対し、早期に情報提供や意見を聞いてほしい旨をお願いしている。
島津委員	補正予算に新型コロナの対応で避難所の感染症対策物資の備蓄を支援する事業に9,800万円計上されているが、どのような形になるのか。
防災危機管理課長	この事業は市町村が備蓄する災害時に避難所を開設した際に必要となる新型コロナの感染予防のための資材について県が支援するもので、具体的には非接触型の体温計1,200本、マスク16万人分、パーティション600

発 言 者	発 言 要 旨
島津委員	<p>組の3つである。なお、消毒用アルコールは、県内の小中製造会社より県が支援を行う必要相当の寄贈を受けそれを活用し配付している。</p> <p>この補正予算の可決後から、それぞれ購入の手続きを進めていくが、マスクについては、県内製造のマスクを予定しており、できるだけ早く配布したい。</p> <p>「県民総活躍で愛のマスク運動」の事業進捗はどうか。</p>
消費生活地域安全課長	<p>4月20日から開始したこの運動は、賛同する県民から手持ちの材料で子供用マスクを作成してもらうか、県から提供する布やゴム紐糸を活用しマスクを作成してもらい、マスク不足を解消しようとするものである。</p> <p>6月29日現在、まだ募集中であるが、手持ちの材料で作成されたマスクが2,887枚、県が提供した材料で作成されたマスクが7,371枚の計10,258枚のマスクを受け取った。これらのマスクについては、子育て若者応援部が5月29日に各市町村を通じて、保育所等に8,000枚を提供し、今後、枚数がまとまった段階で追加提供する計画である。</p>
島津委員	<p>「感謝のガウン県民運動」を展開するに当たって、手作りのガウンは、マスクと違い活用される状況を考慮すれば、受け取る側のニーズと一致しないと考えるがどうか。</p>
消費生活地域安全課長	<p>特に福祉施設等において、ガウンが不足しているという状況に対応するため、市販のビニール袋を活用しガウンを作成し提供するという運動である。その使用に当たっては、様々な業務が想定されるため、各施設において使い道を検討し有効的に活用していただきたい。</p>
志田委員	<p>使用する側がその使い方を考えなければならないものを提供するのではなく、日本工業規格に適った既製品を購入し提供すべきである。県が提供する物品ということは、即ち、県がお墨付きを与えたものであるという認識を持つべきと考えるがどうか。</p>
防災くらし安心部長	<p>医療機関や福祉施設が使用するガウンについては、当然それぞれの医療機関等で規格に適合したものを調達しており、そのことについては、健康福祉部において支援を行っているが、今後第2波、第3波が到来して在庫が逼迫したときには代替品が必要になるという想定から、今のうちに県民からの協力を頂き用意しておく、というのが今回の運動の趣旨である。</p>
志田委員	<p>危機管理の部門で県全体のマスクの備蓄計画を策定すべきと考えるがどうか。</p>
防災くらし安心部長	<p>災害対応の考え方について、従来は流通備蓄という手法で自然災害が発生したときに必要な数を調達するというものであったが、今回のように全国的に発生する病疫については、流通備蓄で対応できないという問題があり、今後検討していきたい。</p>
島津委員	<p>山形県地域公共交通計画を策定するとのことであるが、各自治体間を往来するバスが県内でも廃止になっている現状において、これらの公共交通は重要と考える。現在の取組状況はどうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
総合交通政策課長	<p>市町村から、自治体を超える流動について、県が主体となって検討して欲しいという要望を受け、今年度を通じて、自治体を跨ぐ交通を中心とした地域公共交通のネットワークについて検討し、地域公共交通計画として策定する予定である。</p> <p>6月に県、市町村、各関係事業者、施設管理者で構成する協議会を立ち上げ、この協議会からコンサルタントを選定し計画の作成を委託する。その後、秋を目処に県内の状況を調査し、地域の様々なニーズも踏まえて計画の素案を策定していく予定である。</p>
青柳委員	<p>行財政改革推進プランにおける現時点での全体的な進捗状況はどうか。</p>
行政改革課長	<p>行財政改革推進プランについては昨年度末で4年の推進期間のうち、3年が終了した。50項目の目標指標があり、40項目が達成に向けて順調に進んでおり、プラン全体の進捗としては、概ね順調と評価している。</p>
青柳委員	<p>達成が難しい項目について、残り1年でどのような取り組みをしていくのか。</p>
行政改革課長	<p>目標達成が順調でない項目について、具体的には県の光熱水使用料が目標マイナス7%に対して、現状プラス1.5%となっている。担当部局からは、県有施設の新築増築等による使用料が増加、空調設備の熱源が重油から電気へシフトした等の理由が報告されている。これまでも電気使用量の削減に向けては、冷暖房の適正使用や照明の間引きなど地道な節電の取り組みを進めてきたが、このようなソフト的な取り組みに加え、省エネ効果の高いLEDの積極的な導入等、ハード面でも対策を講じていく必要があると考える。</p> <p>全ての指標について、目標達成に向けてしっかりと取り組みたい。</p>
青柳委員	<p>現行の行財政改革推進プランは今年度が最終年度であり、次期プランを策定するとのことであるが、その状況はどうか。</p>
行政改革課長	<p>新たな行財政改革推進プランの策定は、県民サービスの向上や持続可能な財政基盤の確立等に向け、これまでの行財政改革の成果を踏まえるとともに、新型コロナへの対応等新たな要素なども含め、社会情勢、経済情勢を勘案しながら、有識者で構成する第三者委員会や県議会、さらには県民の意見を聞きながら進めていきたい。</p>
青柳委員	<p>県税条例の改正について、払戻請求権を放棄した文化・芸術スポーツに関する一定のイベントの入場料等の金額を寄附金控除の対象とするとのことであるが、詳細について教えてほしい。</p>
税政課長	<p>政府の開催自粛要請を踏まえて、文化芸術・スポーツイベントを中止、延期又は規模縮小した主催者に対して、観客等が入場料金等の払戻しを請求しなかった場合、放棄した金額を主催者への寄付とみなして、その一定額を個人住民税等から控除することができる特例措置である。</p> <p>例えば、個人県民税の場合、全体から2,000円を控除した金額の4%に相当する額が控除され、さらに市町村民税や所得税を合わせると約50%の控除が受けられるという制度になっている。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
青柳委員	<p>なお、こうした控除を受けるためには、確定申告をする必要がある。</p> <p>コロナ感染症で影響を受けたイベントの全てが対象になるのか。</p>
税政課長	<p>文部科学大臣の指定を受けたイベントが対象となり、指定を受けるためには、主催者が特例対象イベントである旨の申請を文化庁又はスポーツ庁に行う必要がある。</p> <p>なお、県が主催者として、直接実施又は実施予定のイベントについては、指定を受けることなく寄付金控除の対象となる。</p>
青柳委員	<p>補正予算に県庁における職場環境オンライン化推進事業として約 8,000 万円計上されているがその詳細はどうか。</p>
ICT政策推進課長	<p>冬に懸念される新型コロナの第二波、第三波というリスクを想定し、業務継続体制の強化を目的に、携帯型のパソコンとWi-Fiルーターを各500台、クラウド上で資料の作成や共有を行うなどのオフィスサービスのライセンス600人分等を整備するものである。</p>
青柳委員	<p>4月補正で計上された機器の導入状況はどうなっているのか。</p> <p>また、県庁におけるウェブ会議のため環境整備の現状はどうか。</p>
ICT政策推進課長	<p>4月補正で整備することとした100台分の携帯型のパソコンとWi-Fiルーターについては、現在までに90台が納入されている。また、自宅等の県庁外部から職員が使用するパソコンに接続し、リモート操作するシステムのライセンスを100人分追加し200人が同時に接続できる体制となった。</p> <p>また、ウェブ会議は新型コロナ対応により、利用が飛躍的に伸び、昨年度312回の実績に対し、今年度は4月5月の二箇月で462回実施している。これについても需要の高まりに合わせ、従来30人が同時に接続できるシステムであったものを、今月から1会議あたり100人まで同時に10会議接続できるシステムに更新した。</p>
青柳委員	<p>今回の補正で整備予定のパソコンは、新型コロナの影響が収束した後、どのような利用を見込んでいるのか。</p>
ICT政策推進課長	<p>今回整備を予定している携帯型パソコンは、どこでも使用できるというメリットがあり、新生活様式の実践ということで柔軟な働き方に向け活用したいと考えている。</p> <p>例えば、出張や移動が多い業務を行っている部署やインターネットを頻繁に利用するような部署において、職員の柔軟な働き方に資するよう活用していきたい。</p>
青柳委員	<p>今回の補正予算に計上されている私立学校のエアコン整備事業について、現在の私立高校における教室のエアコンの設置状況はどうか。</p>
学事文書課長	<p>現在の県内の私立高校全日制や高等課程を置く私立専修学校における普通教室へのエアコンの設置状況は、教室総数341室のうち、303室(88.9%)の普通教室にエアコンが設置されている。県内の私立高校等15校中、11校の全普通教室にはエアコンが設置されている一方、4校ではすべての普</p>

発 言 者	発 言 要 旨
青柳委員	<p>通教室にエアコンが設置されていない状況である。 なお、県立高校の普通教室におけるエアコン設置状況は31.2%である。</p> <p>教室の温度管理にかかる基準等はあるのか。 また、事業の進め方はどうしていくのか。</p>
学事文書課長	<p>文部科学省が定める学校環境衛生基準において、普通教室の温度は17～28℃が望ましいとされている。 また、当該事業については、学校からの申請により支援を行っていくが、本事業により使用頻度が高い普通教室等では、全ての私立高校等にエアコンが整備されるよう、周知や活用の促進を図っていきたい。</p>
青柳委員	<p>私立高校における新型コロナの対策についてはどうなっているのか。</p>
学事文書課長	<p>各私立高校等に対し、文部科学省や県立高校の取り扱いを踏まえ、適切な感染防止対策を行うよう通知している。 具体的には、登校前の生徒の検温など体調管理の徹底、教室等は常時開放しての授業、消毒液の設置とその積極的な活用、生徒が特に手を触れる箇所の定期的な消毒、教室でマスクを装着し身体的距離1メートルの確保等の実施について要請している。</p>
青柳委員	<p>感染防止対策のため、学校の負担が増していると考えますが、県はどのような支援を行っているのか。</p>
学事文書課長	<p>マスクや消毒液や非接触型体温計等の保健衛生用品の購入経費を補助する政府の学校保健特別対策事業費補助金への上乗せ補助等を行う事業を今回の補正予算で提案している。</p>
青柳委員	<p>私立高校のオンライン学習の体制整備への支援の状況はどうか。</p>
学事文書課長	<p>全ての生徒がノートパソコンを所有している等、オンライン学習に向けた体制が相当整っている学校もあれば、そうでない学校もあり、各学校の状況が異なっているのが現状である。臨時休業期間中の対応でも、時間割を組んでオンライン学習を行った学校、教育支援アプリを用いて課題を配信した学校、それから登校日ごとに課題を配布回収することで対応した学校等、各学校で異なる対応であった。 こうした状況を受け、今回の補正において、すべての私立高校等で生徒や教員の端末等の整備が図られ、オンライン学習に向けた基本的な体制を構築できるようタブレット端末やモバイルルーターの整備に要する経費の補助等を行う事業を提案している。</p>
青柳委員	<p>臨時休業が実施され、私立高校等でも学習指導が大変な状況にあると考えるが、どのように支援していくのか。</p>
学事文書課長	<p>今回の補正予算で、臨時休業に伴う補習やきめ細かな生徒の学習指導を行うため、私立高校等1校当たり2人程度の学習指導員等の配置に要する経費の補助を提案している。</p>

